ち推益人放社ま き対起し雨の中た 着進のが映とし一たしこでな後が能昨い会た訪さした方い、るいども衝登年でのめれれて。でと日かまで全撃半は、数活かま、 最嬉思ご分す大国を島、 発がテ御くTるあ さ落ィ利のV神り いにつ生豪そ本し



木

しにれう 上おまご新 げ迎しざ年 えていあ へのこと がます。 い けまし 0 きし こととおった。 対馬 辞 慶健において しまかかと

第142号 編集·発行 水木学区 コミュニティ推進会 Tel (52)3225 水木交流センター内

ししせの ま力のらめ会分推 い動ミ会すみま上な年心会 感ご体にでま 充をま な皆新すをでのて則か進昨いヘュに 良すげどの・のな謝協や きで令実取す私 1 様し 。よ、適い等り会年た参ニ参たくって、育安活お申力地支ま計和しり 、適い等り会年た参二参たく -す私1様し る皆用まのやのかし加テ加め・自い地成全動、しに域部しり戻し様をす見す活らまいイしに安分く域、はコ上よの、た通年1しくの計。直く動、すたのて、全たもの地地、ミげる人専。り度年にある。である。では、ままもたのでは、ままもたのでは、ままもたのでは、として、である。とんの福域ニすのち部れ行業に、いい、にはない、にはえで境、民イーのごは、これでは、といい、にまたになったで、は、これで、は、といい、にまたに、ない、には、ない、には、ない、には、ないのでは、といいのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないいのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、な 、しに域部し画6た戻 °の年にい 年とと年 頭なつが 頭の挨拶といれることを祈ることを祈ることを祈る ず業もここ あご協ととが かかしとが い、い年定め内たごま度をに容 し協すか進 願活コ内ら住いり備少安進

練ト のえは況な 避練的めこ「もは 生も出局た甚にに にを木和と総 甚倒川多伴立、ラ水一ら防等が近難はのにれ共に自災す再て地 。大はて令て得学6の合こ大木、のう市令初ン木つれ災にら所か水ひ「ら助、分害るびお的まな豪能6施、住9い災ら被床路量雨於5期シ交で、力つ道のら木と総をが近身で発可大りなた被雨登年致水民月か調の害上被となりが近時ではままた各害災害のし木423らになよる時代なる。にに報言がある。には報言を表したといる。はがりせてのではあ然水よいさ発し、たせるのでで、では、での一をが合個緒しります。ととはあ然水よいさ発し、たせるのがでは、の一をが合個緒しります。のははあまれるいる発し、たせるのがでは、の一をが合個緒しります。のが、といるのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためいのでは、ためいのでは、ためいのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためいのでは、ためいのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、はいいのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、いるのでは、ためのでは、いるのでは、いるのでは、いるののでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、い

まで3名に影 頭日説拶 別者で実施し 別から良い天気 当初予定の47 当初予定の47 は台風の 塚たぼレ注馬 。り ツ意会 宮 旗チ事長 司 を後項の くの挨



1主防 レズ示避生 `說難訓 頂物明所練

力 再

発見ウ

才

ク

疲参賞泉乗 もョ ンいたて汗ロ 道 驚い眠練物し勢く なこ神れ加をがり12いツ限タよ。南ばケ青路そきる室用のた揃さ南どん社さ者受森12時たピらーいト部んーいをのののがの中。いん部をこのま、け体時発よンれによイ図でシ空歩後連はす大を係しの消案ん歴でス取育30のでを時着の休館るン見久Rで部てな学の出防署し入りのでを時着の休館るン見久Rで部てな学の出防署し入り、市業Tし消個プ、方迎車にてきまた。フ散到全工。してすおを到ほうら地歩た防室ー水のえやが面出を 間で駅場に 明悉」し有個ノーカ地単にてき出 ですおを到ほうら地歩た防室 - 水のえや於頂出緒 し。さは着どっし区行。署にル難案て救いきて、 た かさしなす抜へ者 だなや救内く急てまい清 が なみまくら群。専 けっ、助でれ車はしる水 シ セ、ししとの 用 等て仮訓建まがたた泉が しまれた方 おたがに て仮訓建まがたた泉が

ホームページ:http://www.net1.jway.ne.jp/mizuki-1/

防

(青少年育成部) 音少年育成部では11月 3日(日)に泉が森体育館で「親子でダンス」を実施 で「親子でダンス」を実施 で「親子でダンス」を実施 で「親子でダンス」を実施 で「親子でダンス」を実施

(日)にK-1 BOWLで開催しました。 第4回目となる今回は、 新4回目となる今回は、 多加者が13組26名で過去 を加者が15点、3を10点ででした。 でとになり、2人でフレームの合計得点で順位を競した。 でとに交代で投球し、3が でした。 では、3が でした。 にに加算されます。 にに加算されます。 ににができるが15点、3が でした。 なお、1がつから書いていた。 ににがでするが15点ででした。 なお、1がつから書いていた。 は、2組 ににがでするが15点ででした。 ににがでするが15点ででした。 ににができるが15点ででした。 ににができるが15点ででした。 ににができるが15点ででした。 ににができるが15点ででは、3が にこの日は朝から書い日で したが、全チームが時間通



水木ま

つ ŋ



(対馬会長開会宣言













